

(教員保存用)

20 年 月 日

研究指導願兼演習参加願

下記のとおり指導教員の登録をいたしたく、ご承認をお願いします。

言語社会研究科 修士 博士 課程

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 (自署) \_\_\_\_\_

指導教員 主 副

氏名 (自署) \_\_\_\_\_

-----切り取り線-----

(学生保存用)

20 年 月 日

研究指導兼演習参加承認控

下記の者の指導教員として、演習参加を認めます。

言語社会研究科 修士 博士 課程

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 (自署) \_\_\_\_\_

指導教員 主 副

氏名 (自署) \_\_\_\_\_

※メール添付でやり取りした場合は、メールを保存しておくことで、「自署」の欄もファイル上の記名で代用して構いません。

※ 主指導教員を変更する場合は、ほかに「指導教員変更願」を事務室に提出してください。

## 研究指導願兼演習参加願の扱いについて

(2021年3月10日言語社会研究科委員会決定)

1. 学生は、参加願／承認控を A4 用紙片面 1 ページに印刷した後切り離さずに、両方に修士・博士の別、学籍番号、氏名、指導教員主・副の別を記入の上、教員に渡すこと。
2. 教員は、参加願／承認控とも、自分の氏名を自署した後、用紙を切り離して、参加願を手元で保存し、承認控を学生に渡すこと。
3. 学生は、主指導教員を変更する場合には、上記 1 以前に「指導教員変更願」を事務室に提出すること。これが困難な場合、事務室に申し出ること。
4. 学生は、上記 1 から 3 の手続きを終えた後に、演習の履修登録を行うこと。この手続きを行わずに登録した場合、登録の取り消しあるいは成績が不可となることがある。
5. 上記 1 から 3 について、メール添付でやり取りした場合は、メールを保存しておくことで、「自署」の欄も、ファイル上の記名で代用して構わない。
6. 学生は、履修登録期間中に上記 1 から 3 の手続きを終えることが困難な事情が生じた場合、速やかに事務室に申し出ること。